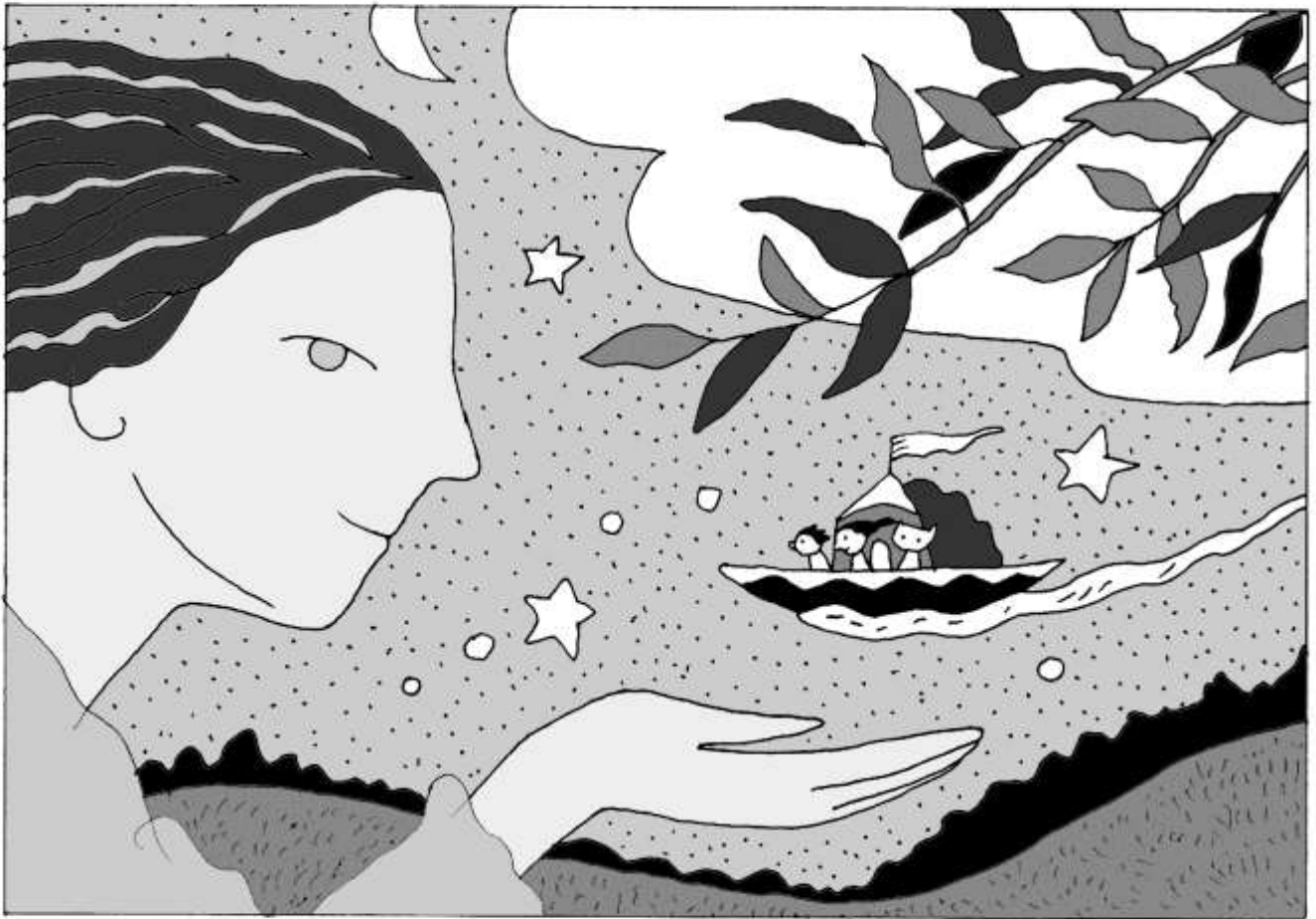


静岡放射能汚染測定室だより

第5号

2011年11月30日発行



目次

イラスト 清重伸之

- | | | | |
|-------------------|----|--------------------|-----|
| ■ 測定結果報告 | …1 | ■ 測定室活動日誌 | …10 |
| ■ 測定についての補足 | …2 | お知らせ | |
| ■ 10月24日(水) | | ①スカイプ参加者へのお願い | |
| 第4回『放射能を話そう♪』報告 | …3 | ②『皆さんが測定を希望される食品』を | |
| 第4回『放射能を話そう♪』感想 | …4 | 12月に測定をします! | |
| ■ 11月6日(日) | | ■ 年末年始の休業のお知らせ | …11 |
| 『チェルノブイリ・ハート』 | | プラムフィールドの窓 測定室の風 | |
| 上映会&アフタートーク報告・感想 | …5 | | |
| ■ アフタートークでの質問に答えて | …6 | | |
| ■ 静岡の娘へ 河野益近寄稿文 | …8 | | |
| ■ 静岡県の松葉による汚染調査結果 | …9 | | |

会員頒布用価格 1部 500円

測定結果報告 2011年10月12日～11月8日

静岡放射能汚染測定室調べ 測定値の単位はベクレル/kg、()内の数値は検出限界値(単位はベクレル/kg)
 ・検体重量(g) ・NDは不検出 ・「↓」は検出限界値以下

	産地	食品名	重量	セシウム134	セシウム137	合計
※1	神奈川県横浜市	水道水(H23年10月11日採取)	592	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
※2	神奈川県横浜市	ラポート横浜イトーヨーカ堂RO水	578	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	北海道沙流郡日高町	真だら	549	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	静岡県浜松市中区	母乳(34歳)第3子	535	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	静岡県駿河湾	駿河湾深層水 100%の塩(震災後採取・H23年9月製造)	530	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
※3	静岡市葵区本山	緑茶(H22年産とH23年産のブレンド)	234	24	33	57
※4	静岡市葵区本山	緑茶飲用茶(一煎目)	593	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	静岡市葵区安倍奥	乾燥椎茸(香信)	98	ND(10↓)	ND(13↓)	ND
※5	静岡市葵区	緑茶(H23年産)	271	210	282	492
※6	静岡市葵区	緑茶飲用茶(H23年産・一煎目)	626	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
※7	静岡市葵区	緑茶飲用茶(H23年産・二煎目)	606	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	九州全域	チキンだしの素(賞味期限H24年8月2日)	558	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	長野県上田市	たまねぎ	592	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	静岡市葵区安倍奥	乾燥椎茸(冬菇)	133	32	43	75
	静岡県島田市川根町家山	緑茶(H23年産)	340	59	79	138
	静岡市葵区北部・駿河区の一部	日本蜜蜂の雑花蜜(H23年10月中旬採取)	892	ND(1↓)	ND(1↓)	ND
	北海道上川郡剣淵町	大豆(ユキホマレ・H22年産)	473	ND(2↓)	ND(3↓)	ND
	千葉県市原市	玄米(H23年産)	601	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	静岡県御前崎市	緑茶(H22年産)	263	ND(3↓)	ND(4↓)	ND
	静岡市葵区	玄米(H23年産)	470	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	北海道・オーストラリア・ヨーロッパなど	明治ほほえみ粉ミルク(賞味期限H24年8月23日)	395	ND(2↓)	ND(3↓)	ND
	静岡市駿河区手越原	みかんの皮	286	ND(3↓)	ND(4↓)	ND
	静岡市清水区宍原	ブルーベリージャム(自家製)	911	ND(1↓)	ND(1↓)	ND
	長崎県南島原市	玄米(H22年産)	579	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	埼玉県蓮田市	さつまいも(洗って皮つき)	505	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	青森県青森市	ミニトマト	535	ND(2↓)	ND(2↓)	ND
	埼玉県久喜市	白米(H23年産・洗米後)	628	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	静岡県三島市～函南	生椎茸(洗っていしづきを取る)	449	ND(2↓)	ND(3↓)	ND
※8	静岡県御前崎市	緑茶飲用茶(H23年産・一煎目・有機栽培・手造り煎茶)	617	ND(1↓)	ND(1↓)	ND
※9	静岡県御前崎市	緑茶飲用茶(H23年産・一煎目・有機栽培・やぶきた一番茶)	577	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
※10	静岡県御前崎市	緑茶飲用茶(H23年産・二煎目・有機栽培・やぶきた一番茶)	672	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	静岡県浜松市	玄米(H23年産)	596	ND(2↓)	ND(3↓)	ND
※11	群馬県尾島市	泥大和芋(洗って皮つき)	449	ND(2↓)	ND(3↓)	ND
	静岡県周智郡春野町	生椎茸(洗っていしづきを取る)	365	ND(3↓)	ND(4↓)	ND
※12	茨城県土浦市	れんこん(洗って皮つき)	602	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	静岡市駿河区手越原	井戸水(H23年10月31日採取)	633	ND(2↓)	ND(2↓)	ND

	産地	食品名	重量	セシウム134	セシウム137	合計
	インドネシア	かつおぶし(H23年10月3日製造)	203	ND(6↓)	ND(9↓)	ND
	静岡市駿河区大谷	鶏卵	561	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	栃木県日光市	白米(H23年産)	653	7	10	17
	栃木県日光市	玄米(H23年産)	588	20	27	47
	静岡県伊豆の国市	いちじく	724	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	静岡県掛川市	玄米(H23年産)	590	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	北海道	マイタケ(菌床栽培)	626	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	静岡県賀茂郡松崎町桜田	玄米(H23年産)	624	ND(2↓)	ND(3↓)	ND
※13	静岡市駿河区	母乳(34歳)第1子	174	ND(0.25↓)	ND(0.27↓)	ND
	長野県安曇野市	玄米(H23年産)	689	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	北海道別海町	いくら(醤油漬)	693	ND(1↓)	ND(1↓)	ND
	浜松市東区	さといも(皮むき)	621	ND(1↓)	ND(2↓)	ND
	静岡県磐田市三ヶ野	白米(H23年産・減農薬)	675	ND(2↓)	ND(2↓)	ND

測定についての補足

今月は何検体か、測定した後の緑茶を使って飲用にして、測定をしました。比較検討してみてください。

*1、*2・・・同じ横浜市の水

*2・・・*1を、ブリタフィルターに通した水

*4・・・*3の茶葉 5g×6=30g を 80℃に冷ましたお湯 750cc で1分間蒸らし、飲用にした一煎目。



*6、*7 はどちらも *5 の茶葉を使用

*6・・・茶葉(20g)を60~70℃に冷ましたお湯 1ℓで1分間おいて、飲用にした一煎目。

*7・・・*6の一煎目の茶葉を70~80℃に冷ましたお湯 1ℓで10秒間おいた二煎目。

*8・・・『測定室だより』創刊号で報告をした茶葉(手造り煎茶)

セシウム 134=59.0Bq/kg、

セシウム 137=72.0Bq/kg

合計 131.0Bq/kg を飲用

(*4と同様の入れ方)にして測定したもの

*9・・・『測定室だより』創刊号で測定報告をした茶葉(やぶきた一番茶)

セシウム 134=55.0Bq/kg、

セシウム 137=68.0Bq/kg

合計 123.0Bq/kg を飲用(*4と同様の入れ方)にして測定したもの(一煎目)

*10・・・*9の二煎目

*11、*12・・・皮のまま、洗って測定

*13・・・当測定器のトラブルのため、ゲルマニウム測定器で測定



■ 第4回『放射能を話そう♪』 10月24日(水) 報告

報告 測定室スタッフ 伊藤美智代
進行 測定室スタッフ 宮本万倫子

10月24日(水) 13:30~15:00

参加者 25名：(内男性3名) 乳児と幼児7名
(会員：11名、一般：6名、スタッフ：8名)

動くとき汗ばみながらもさわやかな青空が広がった24日、今回は今までより静かに始まりました(笑) 小さなお子さんを連れた方も多く、回を重ねるごとに見知った顔の方どうしの会話も自然に始まり、真剣かつ和やかな雰囲気♪ 今回は、滋賀県野洲市の「暮らしを考える会」のFさんも遠方より参加してくださいました。ありがとうございます。

会は、事務局からの報告など参加者の皆さんの質問・交流、そして食の提案として乾物類・海藻類・リンゴ(皮にペクチンが多く含まれているといわれている)などを具体的に紹介しました。スカイプ参加の方からの質問も受けることができ、スカイプ部も順調!



意見交換は、やはり食(魚・きのこ・牛乳・お米について)や国の暫定基準値についてのことなどについて活発に話されましたが、今回はこんな声も聞かれました。

「疲れてきてしまったこともあり、ちょっといいかげんになってきました」「食べる喜びも大切かなって感じてきて、調理の工夫で汚染度も減らせることもわかり、前より野菜が食卓に増えました」

…(事務局より) 緩まることはとても良いことですね。はじめはだれでも泣いてしまうくらい不安になり、いっしょ

うけんめいになります。でも安心・安全の基準は自分で判断すること。はじめにきっちりやっていて徐々にゆるまっていく時、全部はもとにもどらないはず。★毎日3食をきちんと食べる★ちょっと心配なものを食べる状況の時は感謝していただき、排泄が良くなる食べ物を食べるなどを心がけることがポイント! 根菜類・こんにゃく・乾物類またペクチンを含む食べ物も放射能を排泄してくれるものといわれているので、それらを日常の食卓にのせることも大事。ペクチンの多い食べ物として、皮ごとすったりんご・干し柿・干しあんず・梅干し・ママレードなどなどもあります。

みなさんのやりとりを聞きながら、「いいかげん」は「良い加減」という言葉を思い出しました。「いいかげん」をマイナスにとらえず、そんな心の動きを素直に受け止め、「自分なりの良い加減」を毎日の暮らしに活かしていけたらいいですね!

最後に事務局より、

- ◎「原子力の利用について国民投票をしよう」という動きが全国レベルであること
- ◎測定室だより4号に載っている(P9)「河野先生より、鼻血についての情報提供のお願い」
- ◎震災で孤児になった子どもたちを支援する「のいえプロジェクト」の紹介をさせていただきました。

月に一度の「放射能を話そう会♪」は、測定室に新鮮な風が吹き抜ける時間でもあります。

次回も楽しみです!

■ 第4回『放射能を話そう♪』参加者の感想

震災から8ヶ月が過ぎました。私たち家族は原発事故直後、移住も考えましたが、今は落ち着いて暮らしています。

3月11日からこれまで、9ヶ月の息子を持つ母親として自分なりに放射能対策として、米のとぎ汁乳酸菌を作ってスプレーしたり、発酵食品がよいと聞くと、キムチ・納豆・糠の漬物を食べるようにしたり、食生活を考え直し、玄米・味噌汁・梅干生活にしたり、又、すみく竹炭>を利用して飲料水を作ったりと良いと言われる事をやっていました。

ただ、すべてに対し放射能汚染の心配をしていると、だんだんと心が行き詰っていき、何が良くて、何が正しいのか分からなくなっていました。そんな時、夫から、プラムフィールドで<放射能を話そう>という会があるから行って見ないかと誘われ、参加してみる事にしました。

私の周りは、放射能汚染を気にしている友人はほとんどいなくなっていたので、私と同じ位の年代、しかも幼い子供を持つ母親が多数参加していたので、安心しました。

この会に参加して、放射能測定室だよりの測定結果報告を見ることができ、放射能に対して、知識や情報がある方のお話を聞くことが出来ました。そして、子供を持つ母親達が日々どのようなことに気を

付けて暮らしているかも分かりました。プラムフィールドでのこの会は私にとってとても有り難いものでした。



これからは<本当に何が起こるか分からない>放射能汚染は、もっともっと気をつけなければなりません。皆が心を通わせ、情報を共有し、対策してゆく。いい意味で、放射能と戦う勇気が湧いてきて、私の心は参加後、スッキリ晴れ晴れしました。笑

私にとって、原発事故は今まで社会に対し、無感心だったいろんなことを知るきっかけになりました。経済社会中心の暮らしをしてきたので、<人間本来の生き方>を見失っていたように思います。

これからは、身の丈に合ったシンプルな生活を心がけ、人間は地球に生かされているんだという事に感謝し、生きてゆきたいです。今後、いろんな方の暮らしを学べたらいいと思っています。

(静岡市在住 M・O)

■ 『チェルノブイリ・ハート』 上映会とアフタートーク報告記

報告 伊藤美智代



雨足も残る中、午前中の部：118名、午後の部：116名、計234名の方々と、チェルノブイリ原

発事故から16年後のソ連現地を取材したドキュメンタリー(61分)映画を観ることができました。今なお続く、被曝被害の事実に向った渾身の映像を観た後は、各回とも『静岡放射能測定室』アドバイザーである河野益近さん(京都大学大学院原子工学)のアフタートークを行いました。河野さんのお話は、チェルノブイリの現地調査・被害状況の報告と福島の実況を対比させ、また、お茶をはじめ来年の農作物の予測動向などのお話を伺い、“今、私たちにできることは何か？”への想いにつながっていきました。

(11月6日(日) 静岡サールナートホール 1階にて)

詳しい報告は、ウェブ掲載動画記録をご覧ください。
貸し出し用 DVD をご活用ください。

(当室会員の壺阪道也さんが、午後の部をビデオ記録し、当測定室に投稿してくださいました。)

『チェルノブイリ・ハート』河野益近さんのトーク(午後の部: 72分)

<http://www.twitvid.com/KO7DC>

DVD は、プラムフィールドサポーターの北村修治さんがビデオ録画し(アフタートーク午前の部)、作成してくださいました。

貸し出しについては、測定室のメール、または電話でお申し込みください。

また当日、ホールでは長年青森県六ヶ所村で核燃のない村づくりへの活動を続けてくださっている「花とハーブの里」のチューリップの球根販売や書籍の販売、脱原発への活動を展開している共催団体のブースなどがあり、にぎやかな交流の場ともなりました。

映画を観てくださった皆様・上映会に向けてご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

■ 『チェルノブイリハート』の感想

初めに思い浮かんだ想いは、「人間は愚か者だ」でした。チェルノブイリの事故があっても、なぜ原発を使い続けるのか? 天災がある地域や国などは特に、技術が 100% 完璧だとしても自然の力に人の 100% の力では太刀打ちできないのは分かるはず。胸が詰まりましたが、誰かのせいにはできないと思いました。

この映画を見るまで、チェルノブイリでどんなに恐ろしく悲しい出来事が今現在も続いているのか、私自身も知らなかったからです。少なくとも、日本でも同じ出来事がこれから起こると予測できると、想いが上手く言葉にできません。

4年後からの奇形児の出産率を見て愕然としました。苦しむ親達、悲しまれる子ども達がどんどん増えていく。そんな暗い未来を誰が望むでしょう?

原発による人為的な被害は、自然災害とは比べられない程に人々に後悔や憎しみを生んでしまう。私自身 3 歳の女の子の母親として、子ども達にできる限りの安全と平等、伸び伸びと自由に育つ環境を作りたいと思います。未来の子ども達のことを思う大人達なら同じでしょう。しかし、今は違います。せつかくの自然があっても野原で

転がって遊ばせてあげられない。大好きな海にも入れない。ご飯も安心して食べられない。私は反省しました。今までもっと原発について知るべきだと。

私一人の力では何もできませんが、無関心でなく、一人でも多くの方がこうした問題に注意を払い、疑問をもって何らかの行動をすることが、少しずつ良い変化や良い社会を作るのだと思います。

いつの時代も大切なことは変わらないはずだけれど、いつの間にか私達は、人任せな無関心状態になっていたのではないのでしょうか?

この映画のように、まだ日本では見られない原発の状況や、今後も見ることのできない原発事故の写真などを見ることが出来るドキュメントを、是非一人でも多くの方が見て、心がどんな気持ちになるか素直に感じて欲しいです。

そして、原発が、私達人間が本当の意味で幸せに生きるために、必要なものなのかどうか問いかけてみて欲しいです。そして、私達人間は愚か者かもしれないけれど、それぞれの想いが前向きな行動へと変化して、それぞれの意識が向上していくことができると信じたいと思います。

熱海在住 加藤明子 (30 歳)

■ アフタートークでの質問に答えて

回答者は当室アドバイザーの河野益近さんです。

質問1

「静岡在住の34歳女性です。1歳10か月男児、6歳の娘の母親です。スーパーで購入する食品、野菜についての悩みです。最近は茨城、群馬、福島の野菜が店頭によく並んでいます。いったい何を基準に選べば良いのか、分かりません。(略)

日々、仕事をし、忙しい日常を送る中で、良い素材を厳選する事は難しい現状です。牛乳や加工食品についても同様です。ウインナー・はんぺん等も心配です。私たちにできる食品選びのアドバイスを下さい。また、測定室で測定した食品の中で、注意すべき食品はありましたか？」

答え1

まず、今年、いや来年の春までは関東・東北の野菜は子どもたちから遠ざけたほうがよいと思います(大人はあきらめてください)。ただ、妊娠しているかもしれないお母さんと、授乳中のお母さんは子ども以上に注意してください。それは、お母さんが食べたものを栄養として濃縮して子どもに与えることになるからです(放射能も濃縮されます)。なぜ来年までかという、それまでには関東・東北の汚染状況がより詳しくわかるようになると思うからです。来年の春になってもだめかもしれません。少しずつでもいいですから、生産者の顔の見える農産物を手に入れるように努力してください。なぜ「顔の見える」ということを言うかという、産地偽装を心配しているからです。すぐには難しいかもしれませんが、子どもさんが大きくなるまでは努力してみてください。

牛乳については、あまり広域流通はしていないと思うのですが、それでも関東・東北のものがあるかもしれません。大手企業の乳製品・菓子類は製造地を確認するようにしたほうがよいと思います。ウインナー・はんぺんも同じです。それは放射能の強い牛乳、肉、魚を放射能の低いものと混ぜて基準値をクリアーすることができるからです。

まさか!とおもうことも一応疑ってかかったほうが子どものためだと思います。

製造番号から製造地を知るには、以下のサイトでできます。<http://www45.atwiki.jp/seizousho/>

測定室ではあまり高い放射能を検出したものはありません(お茶を除いて)が、やはり放射能の強い地域のお米は少し放射能が出ていました。大人はあきらめるしかありません(農薬との兼ね合い)が、毎日食べるものですから、子どもには放射能汚染の高い地域のお米は基準値以下であっても避けたほうがよいと思います。



質問2

「静岡在住の2歳の子どもの持つ母です。現在、静岡市内に住んでいることさえ不安もあるのですが、今後、通勤族ですので、関東方面への通勤が決まった場合、家族はついて行かない方が良いでしょうか?もし、ご自身のお孫さんだとすれば、どの様にアドバイスをされますか?

日常生活で注意すべきことは、食べ物からの内部被ばくを避けること以外にもありましたら、教えてください。」

答え2

静岡市内に住んでいて不安になる必要はあまりないと思います。でも、福島の影響を受けていることは間違いありません。チェルノブイリ(25年前)よりも少し汚染が多い程度です。初期の空気の汚染に比べて来年は今年にくらべて数十分の一に減っているようです。それは松葉の今年の春に出た葉の放射能が少ないことから推測できます(去年芽を出した葉は福島の影響を直接受けているので少し高くなっています)。都会の放射能は雨が降るたびに少しずつ下水へ流れ、最終的には海に流れていきます。自然の豊かな場所では、長い間腐葉土

(1960年代の論文ではそうになっていたと記憶していますが、最近は土壌の粘土質に吸着されるとい話もあります)に留まっていて、なかなか都会まではやってきません。農家の人たちにとっては、とても厄介な話なのですが・・・。

そういう意味で都会は意外と早く放射能のレベルが下がるのではないかと思っています。ただ、関東・東北では放射能汚染の濃度が高いので、汚染土壌(特に霜柱でふわふわになった土壌)が強風で舞い上がると、花粉と同様に都市にもやってくると思います。正直にいうと、お父さんだけが移る(単身赴任)という選択肢を用意しておいたほうがよいかもかもしれません。私なら、娘と孫を京都へ呼び寄せます。

静岡での日常生活は、内部被曝に気をつければ、特に気にする必要はないと思いますが、低いとはいえ汚染していることは間違いないので、外から帰ったら手を洗う、時々玄関を水洗いする。それは放射性物質を移動させるのは人間の手、足だからです。家の中では人の手が触れる場所をこまめに拭き掃除する。ということでしょうか。関東の人には、外出着(コートなど)はなるべく玄関付近において、室内に持ち込まないようにということをつけ加えています。

放射能を気にする、というのではなく、習慣としてしまえば苦にはならないと思います。「恐れず、されど侮らず」です。

■ 「チェルノブイリ・ハート」アフタートークのアフタートーク！ 報告

居酒屋“うず”にて

Eco's (注) 川嶋弘美



浜松市「美蘭中央公園」担当として松葉案内人を務めさせていただきました。

以来、すっかりお茶目な河野さんのファンです。もっとおしゃべりしたいなあ、馬場さんとも会いたいなあと思って座談会に参加させていただきました。

河野さんは大学に勤務していらっしゃるって、なんだか固い感じがするでしょう。いつも難しい研究されてるし。でも、素顔の(お酒の入った)河野さんはちょっと違います。

(1) ネギが天敵。(最初、ネギを入れようとした時に、「ぎゃあ！やめて〜」と言われたので、ねぎって放射能的にやばいのかと思いましたが、ただの好き嫌いでした♪)

(2) ブラックジョークがお好き。(でも、普通の

主婦にはどの辺がブラックジョークなのか判断が難しい♪)

(3) お酒が入っても入らなくても先生と呼んではいけない。(びっくり)

河野さん、これからもいろいろ教えてくださいね。このところの私はちょっとだけ震災前よりは「生活するのが大変だなあ」という思いを抱えていました。出来るだけ顔の見える買い物をする。この基本は変えていないのですが、やはり放射能は「表示」がないので、ホントにめんどくさい。

スペースプラムフィールドを囲むたくさんの方たちとの食事会は、私の癒しの時間になりました。ずっと市民活動をされている方、この震災で目覚めた方、絵で・文章で・芸術で表現されている方、いのちを扱うお仕事をされている方。新しいつながりと、素敵な時間をありがとうございました。

ゆるやかに、しなやかに、子ども達に愛がいっぱいの未来を残せますように。こんな思いをシェア出来て嬉しかったです。

(注) Eco's とは、子どもたちに笑いながら環境の事を学んでもらおうと作った環境劇団です。

— 静岡が放射能汚染瓦礫を受け入れ!? —

元気にしていますか。最近お父さんは元気がありません。忙しいことが原因ですが、お父さんが忙しいのは、世の中が放射能で汚染した時だけです。もう年齢も年齢だし、忙しくならないように願っているのですが、お前の住む町にあるごみ焼却場で放射能に汚れた瓦礫を焼却しようという話が持ち上がっているようですね。

お父さんは、放射能に汚染したものの焼却は、少なくとも放射能を管理できる施設で行うべきだと思っています。もし、町の焼却場で放射能に汚染した瓦礫を焼却して、灰の放射能が放射線障害防止法で定める放射性物質の基準（セシウム-137の場合 1万ベクレル/kg）を超えたとき、焼却場を管理する町はどうするのでしょうか。灰は放射性物質になるので、そのまま放置することは出来なくなります。放射性物質である灰を埋め立てたりすることは出来ないで、放射線管理区域を設定して、管理者をおいて管理する義務が生じます。灰を埋め立てたりすると、管理義務違反で処分されるはずですが、町は、こんな法律があることを知った上で、放射能に汚染した瓦礫を受け入れようとしているのでしょうか。

お父さんは、福島第一原発から出た放射性物質は、原則として汚染源へ返すべきだと思っています。セシウム-137はその放射能が1/100になるの

に約10年、1/1000になるのに約300年かかります。後の世代に知らん顔して行われる灰の埋め立てには反対です。それに8000Bq/kgという基準ですが、今ある原発が全て止った時点で、環境にある放射能を考えて基準を議論するのであれば、妥協の余地（現実的選択）もあるかと思いますが、新たに原発が事故を起こしたら、この基準はまた変わるだろうと思っています。だから、法律で決めないで、一片の通達で決まった基準を認めるわけにはいきません。

それと濃度規制だと、薄めればいくらかでも埋め立てることが出来るということも問題だと思っています。最低限、法律できちんと、罰則も含めて議論したうえ決める必要があると思います。それでも、原発が動いている状況で決められる基準には反対です。

いま環境にある放射能は核実験ではなく、放射性物質を管理していた施設から放出されたものです。法律としては放射線障害防止法という法律があるのですから、放出源である東京電力が法律にのっとって処理すべきだと思います。

お前たちが反対しても強行されるようであれば、お父さんはごみ焼却場周辺の放射能調査をするつもりです。

2011年11月14日記

■ 静岡県の松葉による汚染調査結果地図

静岡県内の松葉の測定地図が完成しました。

前号でもお知らせしました静岡県内の松葉の測定結果を1枚のまとめた地図が出来上がりました。

県内25箇所の測定値も入っています。実際は各地の汚染度をカラーで表示してあります。

地図作成については、会員の中小路太志さん（浜松在住）に協力を頂きました。

ありがとうございました。

各測定箇所の測定データは、河野さんのブログ (<http://kohno.at.webry.info/>) をご覧ください。

なお、カラーの地図（A4版）をご入用の方は、測定室までご連絡ください。

送料80円でお送りします。

A4版紙…1枚 50円

A4版パウチ…1枚 100円

■ 測定室活動日誌

10月23日(日)『測定室だより』第4号印刷・製本作業

10月24日(月) 13:30～ 第4回“放射能を話そう♪”(報告記掲載)

11月6日(日)『チェルノブイリ・ハート』上映会&アフタートーク(報告記掲載)

11月7日(月) 相模原市 子ども守り隊主催の学習会 講師として馬場参加。

11月12日(土)『福島に放射能から身を守るための「梅ドミ」支援』を！！

ジュノーの会代表 甲斐 等さんの講演とワークショップ

(報告記は次号に掲載予定です)

11月14日(月)～ 『測定室だより』第5号編集作業

11月24日(木) 第5回『放射能を話そう♪』 測定室にて

■ お知らせ

① 放射能を話そう♪スカイプ部参加の皆様へ

遠方の方も、スカイプで参加が出来ます。その際の設定のお願いがあります。

1. 参加者のマイクを発言時以外は必ずオフ・ミュートにしてください。
2. 参加中にスカイプ部参加者同士の連絡をできるように、メッセージ送信の操作をできるように確認してください。

どちらも簡単ですが、必ず必要となりますので、話そう会♪のスカイプ担当が開始前にご説明します。

スカイプ参加申し込み、ご不明な点は浅羽まで連絡ください。

開始前に参加者の設定を確認したいと思います。よろしくお願いします。 浅羽 愛



② 皆さんが測定を希望される『食品』を12月に測定します！

4号で皆さんにお尋ねした測定値が知りたい食品について、ご意見を寄せていただきありがとうございました。16名の方が希望をお寄せくださいました。

希望に上がった食品は、《あさり、シジミ、生シイタケ、干しシイタケ、なめこ、えのき、汚染が出た米を炊いて測る、白菜、静岡県内の豚肉、駿河湾の魚、袋井牛乳、牛乳(メグミルク)、ソフトクリーム》などですが、多くの方から希望があったものは、「ウナギ」と「きのこ類全般」でした。

生シイタケや白菜、干しシイタケなどは、以前にも測定をしていますので、まだ、測定していないウナギや貝類などを測定したいと思います。

12月末の冬休み中に測定をして、皆さんにご報告をしたいと思います。

測定室の年末・年始の休業日のお知らせ

12月29日(木)～1月4日(水)は

お休みをさせていただきます。

休業中に測定器のメンテナンスを行い、
測定器にも少し休養を取ってもらいます。

現在の会員数

11月15日現在の会員数

特別会員	2人
団体会員	10人
会 員	103人
情報会員	90人
旧 会員	15人
合 計	220人



編集・発行 : 静岡放射能汚染測定室 事務局

〒420-0882 静岡市葵区安東 1-2-3 プラムフィールド内

TEL/FAX 054-209-2021 (月～金 10:00～16:00)

測定室 Ph 070-5034-0920 (月～金 9:00～17:00)

e-Mail ssokuteisitu@yahoo.co.jp

URL <http://sokuteisitu.plumfield9905.jp>

プラムフィールドの窓・測定室の風

プラムフィールドの玄関わきのプランターにコスモスの花が可憐に咲いて、訪れる人を迎えてくれています。もう、秋。測定室がスタートして5カ月になりました。今月もスタッフの紹介をします

〈スタッフ紹介〉 野村真理さん

スタッフの中ではとびつきり若い、美人ママさんです。しかもパソコンにとっても強く、放射能測定室には欠かせない人。それが野村真理さんです。2人の可愛い男の子たちを育てているだけに放射能の問題に関心が高く、「放射能を話そう」に参加される若いお母さんたちとも、すぐに打ち解け、私にはよく分からない新しい通信手段・スカイプも使いこなす頼もしい存在です。

(竹内せつ子)

『スタッフのつぶやき』

スタッフらしいことが全く出来ない私ですが・先日”チェルノブイリ・ハート”を見させていただきました。ごく普通の未来、ごく普通の過去を奪われた痛みに触れ、人間がどんなことをしてしまったのかをリアルに感じました。『まだ間に合うこと・自分に来ること・』を深く深く考える機会になりました。

『無かったことにしない。もう同じことを起こさない。』改めて、私の誓いです。

(野村真理)